

4 国語シリーズ収録資料目録

注 ここには各資料の収録されている本のシリーズ番号を示したので、その書名は、この巻末に付されている国語シリーズ一覧を御覧ください。

当用漢字表

	巻数
当用漢字表（昭和21.11.16内閣訓令第7号，同告示第32号）……………	21
当用漢字表審議報告（補正案）（昭和29. 3. 15）……………	26

当用漢字別表

当用漢字別表（昭和23. 2. 16内閣訓令第1号，同告示第1号）……………	21
当用漢字別表に関する主査委員長報告……………	14

当用漢字音訓表

当用漢字音訓表（昭和23. 2. 16内閣訓令第2号，同告示第2号）……………	21
五十音順 当用漢字音訓索引……………	21
当用漢字音訓表に関する主査委員長報告……………	14
当用漢字音訓表の音訓数……………	33

当用漢字字体表

当用漢字字体表（昭和24. 4. 28内閣訓令第1号，同告示第1号）……………	21
当用漢字字体表に関する主査委員長報告……………	14
当用漢字字画順表（案）……………	33

人名用漢字別表

人名用漢字別表（昭和26. 5. 25内閣訓令第1号，同告示第1号）……………	5, 21, 26
---	-----------

同音の漢字による書きかえ

「同音の漢字による書きかえ」について（昭和31. 7. 5国語審議会報告）……………	35
--	----

漢字の学年配当

昭和27・28年度調査報告	24
学習漢字学年別配当試案	24
漢字指導語形集	24

地名の漢字

町村の合併によって新しくつけられる地名の 書き表わし方について (昭和28.10.8 国語審議会建議)	19, 21, 26
--	------------

現代かなづかい

現代かなづかい (昭和21.11.16 内閣訓令第8号, 同告示第33号)	21
現代かなづかいに関する主査委員長報告	14
現代かなづかいの要領	21
明治以降におけるかなづかい問題の書目	12

正書法

正書法について (昭和31.7.5 国語審議会報告)	35
----------------------------	----

標準語

国号「日本」の読み方について	37
----------------	----

話しことば

話しことばの改善について (昭和31.7.5 国語審議会建議)	33
---------------------------------	----

これからの敬語

これからの敬語 (昭和27.4.14 国語審議会建議)	26, 33
-----------------------------	--------

外国語・外来語の表記

学術用語の表記について (昭和27.12.8 国語審議会会長から学術用語分科審議会会長あて回答)	14
---	----

外来語の表記について（付，外来語用例集）

（昭和 29. 3. 15 国語審議会報告）	27
外国の地名・人名の書き方（案）（昭和 21. 3 文部省国語調査室編）	27

公 用 文

公用文改善の趣旨徹底について（昭和 26. 10. 30 国語審議会建議）	21
公用文の左横書きについて（昭和 26. 10. 30 国語審議会建議）	21
公用文改善の趣旨徹底について（「公用文作成の要領」）	
（昭和 27. 4. 4 内閣閣令第 16 号依命通知）	21
公用文改善に関する次官会議（決定・申合せ・了解）	21
公用文改善事業の沿革（年表）	21
文部省公文書の書式（昭和 25. 3）	21
文部省あて公文書の書式（昭和 28. 11）	21
文部省用字用語例（昭和 28. 11）	21
文部省電話のかけ方（昭和 28. 11）	21

法 令 用 語

法令の用語用字の改善について（昭和 25. 11. 7 国語審議会建議）	21
法令用語改善についての建議（昭和 29. 3. 25 国語審議会建議）	25
法令用語の改善について（昭和 29. 10. 7 次官会議申合せ）	25
法令用語の改正の方針（「法令用語改正要領」）	
（昭和 29. 11. 25 内閣法制局次長通達）	25, 26

国 語 白 書

国語審議会 国語問題要領（昭和 25. 6. 12 国語審議会報告）	4, 26
--	-------

か な の 教 え 方

かなの教え方について（昭和 30. 7. 1 国語審議会報告）	29
---------------------------------------	----

学 術 用 語

学術用語集序文	29
---------------	----

学術用語集まえがき	29
専門用語の統一に関する次官会議申合事項 (和和 29. 7. 8)	29

ロ　ー　マ　字

ローマ字のつづり方 (昭和 29. 12. 9 内閣訓令第 1 号, 同告示第 1 号)	23, 26
小・中学校のローマ字学習について (昭和 28. 8. 31 文初初第 568 号通達) ...	19, 23
通達・報告・訓令・告示・建議・要項等集録 (明治 33. 11. 5—昭和 29. 12. 9)	23
文献集録	23
会議記録	23
連合国最高司令部指令等	23
文部省ローマ字教育実験調査	9, 10, 18
国語教育におけるローマ字教育について (昭和 31. 7. 5 国語審議会報告)	33

日　本　語　教　育

外国人学生の感ずる日本語教育のむずかしさ	37
----------------------------	----

そ　の　他

国語問題と国語政策について (概説)	33
国語改善に関する略年表	33
昭和 30 年度国語教育研究協議会の記録	29
昭和 31 年度 〃	33
昭和 32 年度 〃	37
国語シリーズ収録資料目録	33, 37
国語問題問答 (第 1 集—第 6 集) 総索引	33, 37

国語問題問答 (第1集～第6集) 総索引

1 ことばの問題

発音	標準語
アクセントの 指導について…… 2—43, 6— 6	標準語の教育…………… 5—34
「しち」か「ひち」か (七, 質)…………… 6— 1	馬は uma か mma か…… 5—35
「センセイ」か 「センセー」か…………… 6— 1	「たっとい」と 「とうとい」…………… 5—36
ダ行音の語とラ行音の語の 使い分け…………… 6— 3	「感じず」と 「感ぜず」…………… 5—36
「落ちる」と「落っこちる」 6— 4	「表へ出た」と 「表に出た」…… 5—37, 6—16
ギリシア・ ペルシアの発音…………… 6— 5	あまつさえ…………… 5—37
標準語	アフルとアオル (煽) …… 5—38
「きれい」と「きれえ」… 1—66	「まぬがれる」と 「まぬかれる」…………… 5—38
「ニホン」と 「ニッポン」…… 1—95, 6— 9	「ちょうちょう」と 「ちょうちょ」…………… 5—38
「はえ」と「はい」…………… 2— 1	「欠ける」と「欠げる」… 5—39
私書箱…………… 3— 8	オオグとオーグ (仰) …… 5—39
標準語の用法…………… 3—35	オモウとオモー…………… 5—39
「うお」と「さかな」…… 3—36	「負って」と「負うて」… 5—40
「じょうろ」か 「じょろ」か…………… 3—36	「好ましい」と 「好ましい」…………… 5—40
「国字」の意味…………… 4—14	「かつて」と「かつて」… 5—40
	「落ちる」と 「落っこちる」…………… 6— 4
	「わたし」と「わたくし」 6— 8
	「川原」は「かわーら」か 「かーわら」か…………… 6— 8

敬 語

- 「これからの敬語」について
て（部会長報告）…… 1—72
「社長」と「社長さん」… 1—76
女子の「～くん」…… 3—38
「これからの敬語」
（全文）…… 3—59
お見えになりました…… 5—41
「お」のつけ方…… 6—10
申す…… 6—12
「お申し越し」と
「お申しいで」…… 6—13

公用文・法令用語

- 旧法令の
一部改正のときは？…… 2—41
公文用語の
改善の仕事について…… 3—15
法令用語改正要領
（本文）…… 3—16
やわらかい官庁用語
にしてほしい…… 6—14

学 術 用 語

- 学術用語の整理…… 3—13
整理の事情…… 4—26
「学術用語集」の刊行…… 4—38
学術用語と当用漢字…… 4—38
「学術用語集」の普及…… 4—39

文 法

- 四段活用か五段活用か…… 1—69
文語と口語の混用について 1—96
文語的語句の混用について 2—43
「ある」の活用の種類…… 6—15
「に」と「へ」…… 5—37, 6—16
「できるかぎり」の品詞… 6—17

日 本 語 教 育

- 日本語のむずかしさ…… 6—18

国 語 白 書

- 国語問題要領について…… 3— 4
「国語問題要領」
（全文）…… 3—45

2 かなの問題について

かなの使い方

- 三カ条…… 1— 5
かたかなの用法…… 3—35
かたかな書きの範囲…… 5—33
「三ヶ年」か「三か年」か 6—20

- 鳴き声の「ブーブー」…… 6—20

現代かなづかい

- 現代かなづかい（主査委員
長報告）…… 1—48
かなづかいの意義…… 1—60

会 津…… 1—63, 2—20, 3—32
 焼津, 飯塚…………… 1—63
 助詞「は」「へ」… 1—64, 3—31
 「ゆう」か「いう」か…… 1—65
 「とおる」か
 「とうる」か…………… 1—65
 「きれい」,
 「せんせい」…… 1—66, 6— 1
 「地」は「ぢ」か
 「じ」か…………… 1—66
 「はなぢ」か
 「はなじ」か…………… 1—67
 「ずつ」か「づつ」か…… 1—67
 「まちか」か
 「まじか」か…………… 1—67
 「世界じゅう」か
 「世界ぢゅう」か 1—68, 5—26
 「基づく」か「基く」か… 1—68
 「魚づくし」か
 「魚ずくし」か…………… 1—68
 「腕づく」か
 「腕ずく」か…………… 1—69
 次のとおり…………… 1—91
 呼び声は「おおい」か
 「おうい」か…………… 2—19
 大 阪…………… 3—19
 舞鶴・浅茅が原…………… 2—20
 国府津…………… 2—20, 3—32
 ルビのよう音…………… 2—20
 長音の「お」…………… 3—30
 「利雄」さんのふりがな… 4—10

「今日は」, 「今晚は」…… 4—11
 「きうり」か
 「きゅうり」か…………… 4—12
 「は, へ, を」の除外例… 5—21
 「じ・ぢ」「ず・づ」の
 書きわけ…………… 5—23
 「藤原」のふりがな…… 5—23
 「志津子」のふりがな…… 5—25
 「国旗」は「こくき」か
 「こっき」か…………… 5—25
 「ちえっ」…………… 5—26
 本則ということ…………… 5—26
 二語連合ということ…… 6—22
 学界は「がっかい」か
 「がくかい」か…………… 6—24

送 り が な

「基づく」「基く」…… 1—68
 送りがなについて… 1—86, 3—32
 送りがなの統一…………… 1—88
 「当る」と「当てる」…… 1—90
 次の…………… 1—91
 「当る」と「当たる」…… 1—91
 「明かるい」と
 「明るい」…………… 1—92, 5—28
 すくなくない…………… 2—21
 戸締り, 限り, 答え,
 受取書…………… 3—33
 「現われる」と
 「現れる」…………… 5—27
 送りがなの指導と

文法との交渉……………	5—29
「書留」か	
「書き留め」か……………	5—29
埋める……………	5—30
公用文の送りがな……………	5—30
明治40年刊「送仮名法」…	5—30
「返えす」「帰えす」か	
「返す」「帰す」か……	6—24
「聞える」か	
「聞こえる」か……………	6—25

「生まれる」か	
「生れる」か……………	6—26

かなの学習

ひらがな本位にしたわけ…	2—42
かなの学習……………	4—21

正書法

総かな文にはならないか…	2—41
かたかなの用法……………	3—35

3 漢字の問題について

当用漢字

当用漢字選定の基準……………	1— 1
「使用上の注意事項」の 説明……………	2— 3
当用漢字表の補正……………	3— 5
「猿」の字は必要か……………	6—27

教育漢字

当用漢字別表（主査委員 長報告）……………	1—37
漢字と義務教育……………	1—43
教育漢字に「𠂔」「𠂔」 は不必要ではないか……	2— 8
漢字の学年配当に ついて……………	2—18, 5—19
音訓の配当……………	6—33

音訓

当用漢字音訓表（主査委員 長報告）……………	1— 7
1音だけの字……………	5— 1
「菊」は音か訓か……………	5— 1
当用漢字音訓表の音訓数…	5—94
音訓の学年配当……………	6—33
「学」の音訓……………	6—34
「みずから」と 「おのずから」……………	6—35
音訓と熟語のときの意味…	6—36
「入」に「はいる」の訓…	6—37
もっと訓を認めよ……………	6—37
同訓の字の使い分け……………	6—38
「家」のよみ方……………	6—39

漢語の読み方

情緒……………	1—15
施行……………	2— 1
施業……………	2— 1

世 論	2— 1
世 帯	2— 1
博 士	2— 1
詩 歌	2— 2
砂 鉄	2— 2
富 貴	2— 2
水 郷	3—37
熟語の読み	4— 1
「口こう」と「口くう」	4— 2
「復興」と「腹腔」	4— 3
合評会	5— 2
障 子	5— 2
芸術, 美術, 技術	5— 3
「センセイ」か	
「センセー」か	6— 1
連声について	6— 4

漢字の使い方

「他」「外」「ほか」	1—16
「来る」の使い方	1—16
できる	1—17, 5—32
ふぜい	2—11
こども	5—31
挨拶・親切・大切・大事・	
出来る	5—32
「句読法」と書けるか	5—33
「初」と「始」の使い分け	6—32

漢語と漢字

漢語の整理	1— 3
絃と弦	1— 4

「言う」と「云う」	1—92
部首について	1—97, 2—16
年 令	2— 9
12 才	2— 9
冒 険	2— 9
探 検	2— 9
「価格」と「価額」	2—10
「車輛」と「車両」	2—10
「批難」と「非難」	2—10
「排列」と「配列」	2—10
しょうゆ	2—10
音のない漢字	2—15
動植物の漢字	3— 7
あて字	3— 8
也	4— 4
「寄附」と「寄付」	4— 5
「明瞭」と「明了」	4— 6
「味」と「味わう」	4— 6
「学級編成」と	
「学級編制」	5— 4
「繁殖」と「蕃殖」	5— 4
「天守閣」と「天主閣」	5— 5
「埆」という字	5— 5
漢和辞典の部首	5— 6
「交差点」と「交さ点」	6—28
「受験番号」か	
「受検番号」か	6—29
「刺げき」か「刺激」か,	
「率直」か「卒直」か	6—29
「水牛」や「金魚」もかな	
書きがよいのか	6—30

「充分」と「十分」と

「じゅうぶん」…………… 6—30

「絶対絶命」か

「絶体絶命」か…………… 6—31

「回復」と「快復」…………… 6—31

字 体

当用漢字字体表（主査委員

長報告）…………… 1—18

シソニユウの書き方…………… 1—29

「者」のテソ…………… 1—30

教・舎・黄・帰・芸・内・

蔵・旅…………… 1—31

桧…………… 1—33

養…………… 1—33

確…………… 1—33

薄…………… 1—34

様…………… 1—34

棄と肅…………… 1—34

静…………… 1—35

船のへん…………… 1—35

疎のへん…………… 1—98

童…………… 2—12

冷…………… 2—12

夢…………… 2—12

新聞の活字…………… 2—12

旧字体はまちがいか 2—13, 3—25

式…………… 3—26

海…………… 3—26

総と聰…………… 3—26

急…………… 3—28

しんにゅう…………… 3—28

證と証…………… 4— 6

衆と衆, 純と純…………… 4— 8

当用漢字の行書と草書…………… 4— 9

教科書体活字の

「本」と「木」…………… 4— 9

新字体と字原…………… 5— 8

分…………… 5— 9

吉と吉…………… 5—10

監…………… 5—12

満…………… 5—12

感…………… 5—12

内…………… 5—13

くさかんむり…………… 5—14

しんにゅうの書き方…………… 5—14

悩のつくり…………… 5—15

しんにゅうの画数…………… 5—15

当用漢字字画順表（案）… 5—99

国の字…………… 6—39

女か女か…………… 6—42

はねるかはねないか…………… 6—43

はらうかとめるか…………… 6—44

母, 卒…………… 6—45

「北條」と「北条」…………… 6—45

「力」は4画か…………… 6—48

「糸」「比」の画数…………… 6—49

「臣」の画数…………… 6—50

略 字

略字について…………… 1—35, 3—27

新しい略字…………… 5—16

灯…………… 3—27, 5—17
「沸」の略字…………… 6—44
転と恥…………… 6—46

筆 順

夢…………… 2—12
筆順の基準…………… 2—14
新旧字体の筆順…………… 2—14
筆順のきまり…………… 3—29
必…………… 3—30
筆順の必要性…………… 6—47
習字の筆順…………… 6—48

固 有 名 詞

固有名詞と新字体…………… 1—33

人名用漢字について…………… 1—44

地名に使う漢字についての

建議（本文）…………… 2—26, 3—11
人名用漢字（本文）…………… 3—9
人名用漢字の字体… 3—10, 6—41
児童の民名の字体…………… 5—7
履歴書の字体…………… 5—8
天竜川…………… 6—46

漢 字 の 学 習

書取の

採点について…………… 2—13, 3—29
門と冂…………… 5—18
音だけの漢字の指導…………… 5—18

4 外国語・外来語

外国語・外来語の

表記について（本文）… 1—77
アジアかアジヤか…………… 1—82
中国の地名・人名の書き方
の表について…………… 1—84
料・厶・馳…………… 2—9
外来語の表記法…………… 3—34
ハンカチかハンケンか…………… 5—42

「あいすけえき」か

「あいすけーき」か…………… 5—43

「ギリシア」「ペルシア」 6—5

「ウインドー」か

「ウインドウ」か…………… 6—21

「オホーツク海」「カムチ

ャッカ」「ウオツカ」… 6—21

5 ローマ字

小中学校の

ローマ字学習について… 2—29
ローマ字つづりと
現代かなづかい…………… 2—37

ローマ字のつづり方

（訓令・告示）…………… 3—39
第1表・第2表の使い方… 4—15
国語教育におけるローマ字

教育について（本文）… 5—63

6 書

く り 返 し 符 号

くり返し符号について…… 3—34

くの符号…… 3—34

横書きの「ゝ」…… 4—12

「々」「ゝ」などの

呼び名…… 5—44

くり返し符号の使い方…… 5—44

く ギ リ 符 号

7 そ

国語審議会について…… 6—58

ローマ字について…… 6—53

式

くぎり符号について…… 3—33

書

式

左横書きについて… 1—93, 2—23

数字の書き「j」…… 2—22

「わかち書き」か

「分け書き」か…… 6—51

「わかち書き」の種類…… 6—51

わきてん…… 6—52

ブレッツ…… 6—52

の 他

国語シリーズ No. 37

国語問題問答

第6集

MEJ 4140

昭和33年3月20日印刷

昭和33年3月25日発行

著作権所有

発行者

印刷者

文 部 省

東京都千代田区神田小川町1の1

竹 田 光 二

名古屋市昭和区白金町2の8

竹田印刷株式会社

代表者 竹 田 光 二

発 行 所

光風出版株式会社

東京都千代田区神田小川町1の1

電話(23) 2880・振替東京 162599

名古屋市昭和区白金町2の8

電話(8) 2586・振替名古屋 38253

定 価 49 円